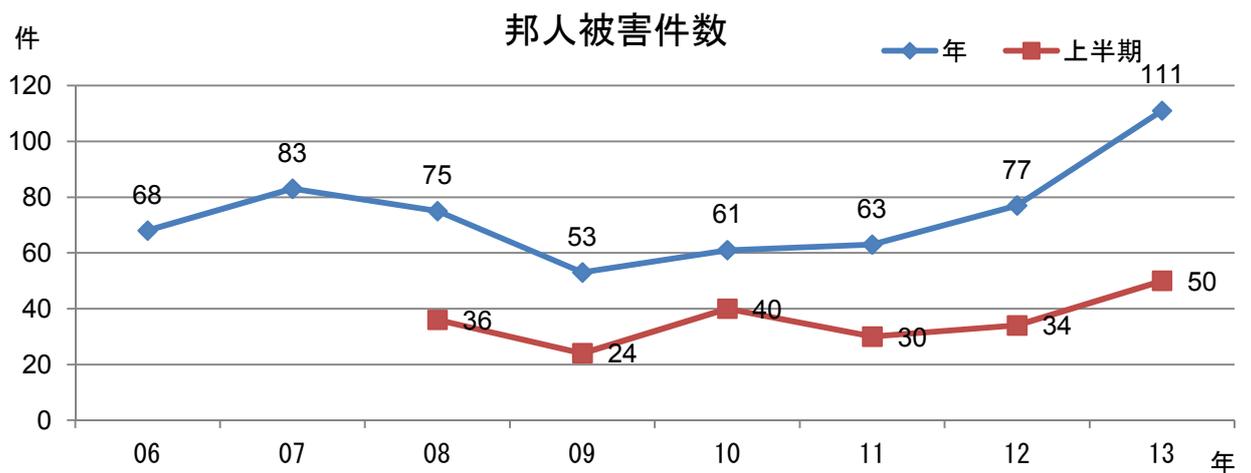


## 2013年邦人被害概況

### 1 邦人被害の特徴

#### (1) 全体的特徴

- ・ 一昨年と比較すると、被害件数が大幅に増加（+34件）し、総件数111件であった。2009年、新型インフルエンザの影響等により被害件数が減少した後、年々増加傾向にある。
- ・ 地域別では、メキシコ市での被害は前年比-6件と減少した。地方における被害は、86件と前年比+40件であり、発生州は18州（前年比+4）に及び被害の地方拡散化傾向は継続している。
- ・ 被害の種類別では、窃盗（車上狙い、空き巣、置引き、すり、ひったくり）被害が77件と最多で、被害全体の69%を占めた。  
特に窃盗（車上狙い）の被害は36件と被害全体の32%を占め前年比(+15件)増加した。
- ・ 強盗事件（強盗致傷含む）は18件と前年比（+7件）増加した。強盗事件は被害全体の16%を占めている。前年に比べ凶悪犯罪は増加し、さらに全体の被害件数も増加傾向にある。



#### (2) 地域別特徴・傾向

##### ア メキシコ市

- メキシコ市の被害は25件と前年比6件減少した。なお、2013年にメキシコ市検察庁に届けられたメキシコ市全体の犯罪被害通報件数は、176,816件で前年比2,230件減少(-1.3%)した。殺人749件(前年比-50件, -6.7%), 誘拐60件(前年比-5件, -8.3%), ATMや銀行利用後の強窃盗699件(前年比-263件, -38%), タクシーの乗客に対する強窃盗358件(前年比-282件, -56%)とメキシコ市で特徴的であったATMや銀行利用後の強窃盗事件は、昨年引き続き大幅に減少したが、全体の犯罪被害通報は微減であった。メキシコ市における邦人に対する強盗等の凶悪事件は8件とメキシコ全国の凶悪事件20件のうち40%(前年73%)を占めた。凶悪事件でも邦人被害が地方に拡散している傾向が続いている。
- メキシコ市においては、窃盗(すり)6件, 窃盗(空き巣)3件, 窃盗(ひったくり)3件, 窃盗(置引き)1件, 窃盗(窃盗その他)1件, 強盗7件, 詐欺2件, 恐喝1件, 傷害1件の被害が発生した。
- 邦人被害の発生場所は、クアウテモック区が5件, ポランコ地区が4件, コヨアカン区2件, ミゲルイダルゴ区(ポランコ地区を除く)1件, ソチミルコ区1件, アルバロ・オブregon区1件, グスタボ・アドルフォ・マデロ区1件, ベニート・フアレス区1件, その他地下鉄内4件, バスターミナル内2件, メトロブス内2件, メキシコ市内以下不詳1件が発生しており, 邦人の主な活動区域で被害が発生している。
- 被害の種類では, 窃盗(すり, 空き巣, ひったくり), 路上強盗の被害が目立って発生している。
- メキシコ市ポランコ地区では毎年数件の空き巣被害(邦人宅)が発生している。
- メキシコ市東方面バスターミナルでは, 自称米国人による詐欺被害が2件発生した。

#### イ その他の地域

- メキシコ市以外で発生があったのは, グアナファト州で42件, アグアスカリエンテス州9件, キンタナ・ロー州で9件, ヌエボ・レオン州5件, ケレタロ州4件, メキシコ州3件, オアハカ州2件, バハ・カリフォルニア州2件, ハリスコ州2件, 以下, イダルゴ州, ゲレロ州, サカテカス州, サンルイスポトシ州, チアパス州, バハ・カリフォルニア・スル州, プエブラ州, モレロス州でそれぞれ1件ずつ発生した。  
グアナファト州の被害が42件(前年比+27件)と大幅に増加し, そのうち23件は窃盗(車上狙い)の被害であった。
- グアナファト州においては, 窃盗(車上狙い)23件, 窃盗(空き巣)7件, 窃盗(置引き)3件, 窃盗(ひったくり)1件, 窃盗(仮睡者狙い)1件, 窃盗(窃盗その他)1件及び強盗致傷1件, 強盗5件の被害が発生した。

- ・ アグアスカリエンテス州においては、窃盗（車上狙い）4件、窃盗（空き巣）2件、窃盗（ひったくり）1件、窃盗（窃盗その他）1件及び強盗1件の被害が発生した。
- ・ キンタナ・ロー州においては、窃盗（置引き）4件、窃盗（すり）3件、窃盗（客室狙い）1件、窃盗（窃盗その他）1件の被害が発生した。
- ・ ヌエボ・レオン州においては、窃盗（車上狙い）3件、窃盗（空き巣）1件及び恐喝1件が発生した。
- ・ ケレタロ州においては、窃盗（車上狙い）3件及び恐喝1件が発生した。
- ・ メキシコ州においては、窃盗（車上狙い）1件、窃盗（置引き）1件及び恐喝1件の被害が発生した。
- ・ オアハカ州においては、窃盗（置引き）1件及び強盗致傷1件が発生した。
- ・ バハ・カリフォルニア州においては、窃盗（車上狙い）1件及び強盗致傷1件が発生した。
- ・ ハリスコ州においては、窃盗（置引き）1件及び恐喝1件が発生した。
- ・ イダルゴ州は強盗1件、ゲレロ州は強制わいせつ1件、サカテカス州は強盗1件、サンルイスポトシ州は窃盗（車上狙い）1件、チアパス州窃盗（置引き）1件、バハ・カリフォルニア・スル州は窃盗（置引き）1件、プエブラ州は詐欺1件、モレロス州は窃盗（置引き）1件が発生した。

## 2 邦人被害件数

### (1) 被害届出件数

111件（前年比+34）

本集計は、当館に届け出があった件数であり、被害の届け出が行われていない潜在的被害も多数存在するものと思われ、実際の被害件数はこれより多いものと考えられる。

### (2) 既遂・未遂別届け出件数

既遂 105件（同+29）

未遂 6件（同+5）

### (3) 犯罪手口

強盗致死傷 3件（同+1）

強盗 15件（同+6） ※うち、凶器使用12件

恐喝 5件（同+5）

詐欺 3件（同+3）

傷害 1件（同+1）

強制わいせつ1件（同+1）

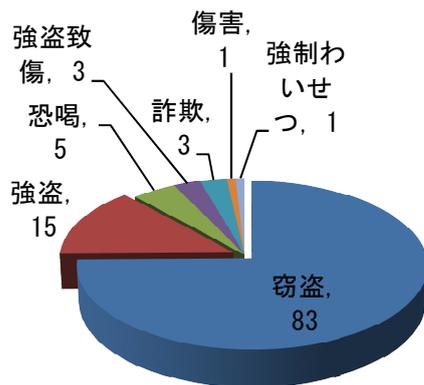
公然わいせつ0件（同-1）

窃盗 83件（同+18）

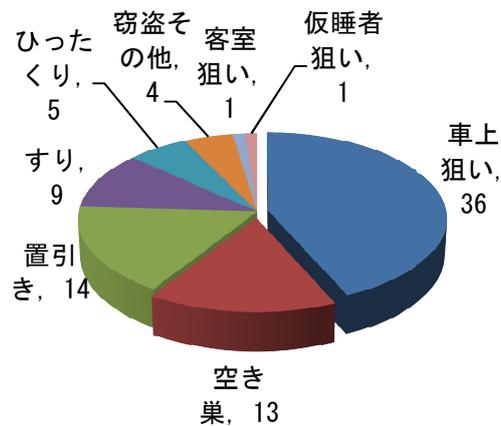
※うち、車上狙い	36件 (+15)
置引き	14件 (±0)
空き巣等侵入窃盗	13件 (+3)
すり	9件 (+3)
ひったくり	5件 (-2)
窃盗その他	4件 (±0)
客室狙い	1件 (-2)
仮睡者狙い	1件 (+1)

強盗等の被害はけん銃を使用するケースが多く一つ間違えば大怪我を負う可能性もあった。グアナファト州では、けん銃を使用したカージャックや日系企業事務所に対する強盗被害が目立って発生した。また、iPhone等のスマートフォンを狙ったひったくりが、昨年引き続き多発した。

被害の種類別

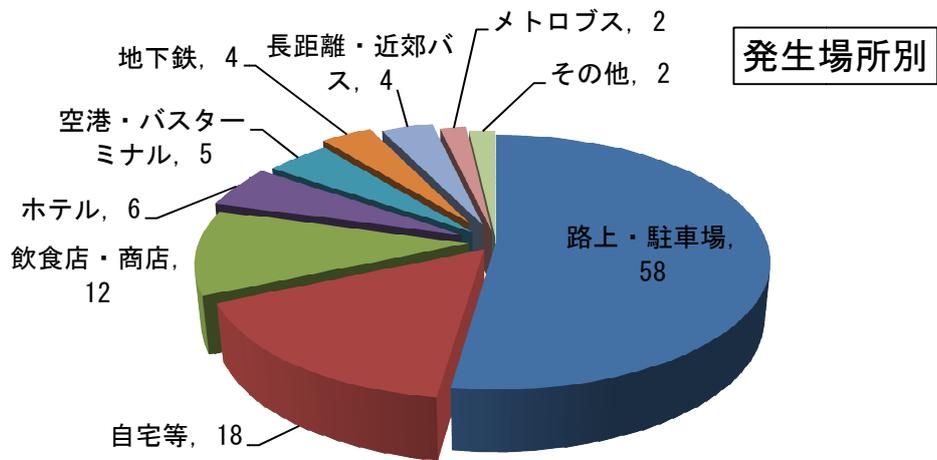


窃盗手口別



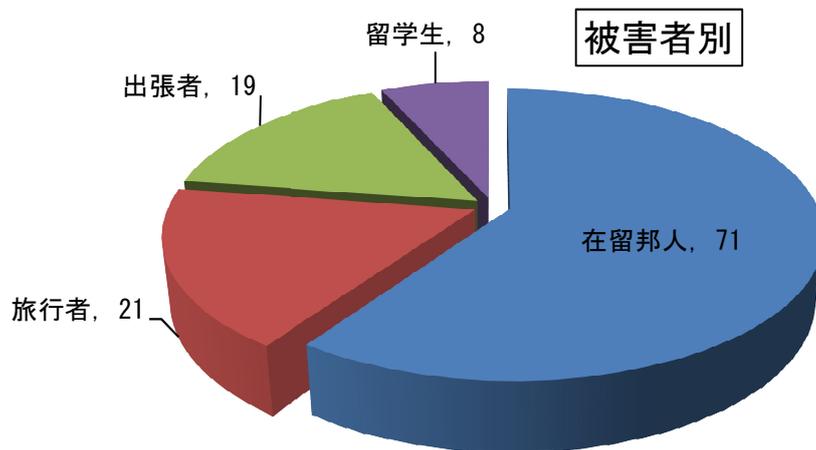
(4) 発生場所別

路上・駐車場等屋外	58件 (+24)
自宅等	18件 (+6)
飲食店・商店	12件 (+9)
ホテル	6件 (-1)
空港・バスターミナル	5件 (-2)
地下鉄	4件 (+2)
長距離・近郊バス	4件 (+1)
メトロブス	2件 (-2)
その他	2件 (-3)



(5) 被害者別

在留邦人	71名	(+18)
旅行者	21名	(±0)
出張者	19名	(+13)
留学生	8名	(+4)



被害の詳細については、別添「邦人被害の犯罪発生状況」一覧を参照。

以 上